2023年

安 全 報 告 書

天竜浜名湖鉄道株式会社

Ⅰ．ごあいさつ

日頃から、天竜浜名湖線をご利用いただくとともに、弊社の運営にご理解とご支援を賜り心より感謝申し上げます。

弊社は２０１１年８月の遠州天竜舟下り転覆事故を風化させることなく、これを教訓とし「安全・安定した列車運行の確保・継続」を経営方針の最上位に掲げ、安全管理体制や安全教育訓練の再構築、設備投資計画の着実な推進など、社員一同が全力でお客様の信頼確保に努めるとともに、日頃の鉄道運行の安全対策を行っております。

２０２２年度は、新型コロナウイルス感染症の影響による需要の低迷が続く中、台風１５号など自然災害の発生による鉄道施設の被害が発生し経営的にも大きな打撃を受けた１年となりました。しかし、公共交通機関の使命を果すため、全社員が一丸となって、安定輸送の確保に努めてまいりました。今年に入り５月には新型コロナウイルス感染症も第５類に分類されたことにより、今後、人の流れも活発化し需要の回復も期待されますが、引き続き感染予防に留意しながら、安心、安定輸送の実現に努めてまいる所存です。同時に、近年多発する自然災害に対しては迅速かつ適切な対応が執れるよう、社員のスキルアップと災害に対する対応力の向上に努めてまいります。

さて、この報告書は、鉄道事業法第１９条の４に基づき、２０２２年度の弊社における輸送の安全にかかわる情報を皆様に公表させていただくものです。安全輸送を維持するために、そして、地域の皆様に愛され、親しまれる存在になるために、皆様の率直なご意見やご感想をいただければ幸いです。

天竜浜名湖鉄道株式会社
代表取締役社長 松井 宣正

Ⅱ．安全確保のための基本方針と重点施策

1．　弊社では、これまでご利用されるお客様方が、使いやすく、交通弱者にやさしく、安心してご利用いただけるよう、「安全」「正確」「共存」を社是として定め、会社運営にあたってまいりました。

運転の安全に関する規範である綱領を、安全方針として定めております。

〔安全方針・綱領〕

一．安全の確保は、輸送の生命である。

二．規程の遵守は、安全の基礎である。

三．執務の厳正は、安全の要件である。

2．　２０２２年度も、２０２１年度と同様に新型コロナウイルスの影響が懸念される中、以下の安全重点施策の下、公共交通機関としての使命を果たしていくため、新型コロナウイルス感染防止に努めながら、集合訓練の再開や外部研修等への積極的参加を推進いたしました。また、沿線自治体の支援を得るなどして、安全で安定した列車運行に必要な資金確保に努めてまいりました。

〔安全重点施策〕

安全・安定した列車運行の確保・継続

（１）計画的な設備投資の実施による安全性の確保

（２）計画的な教育訓練の実施

（３）新型コロナウイルスの感染防止

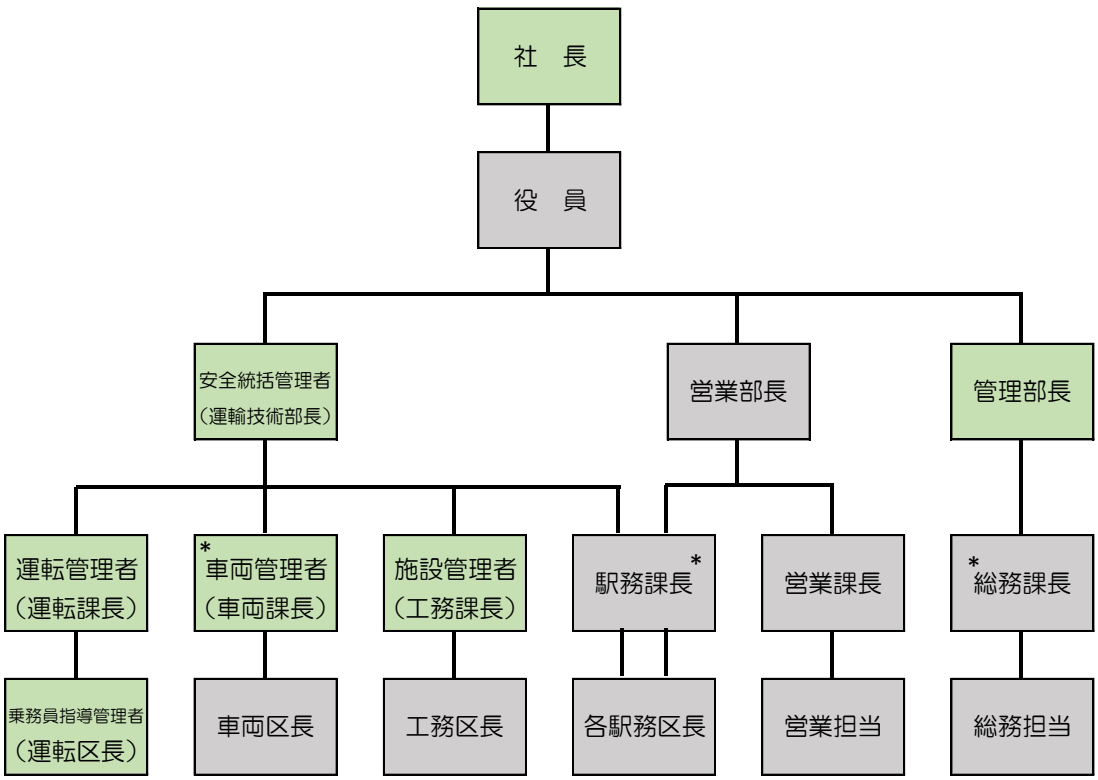
3．　安全目標として、弊社社員のみならず工事等関連業者を含む全鉄道係員を対象に、「安全意識の徹底による責任事故*ゼロの達成」を定め事業を進めてまいりました。２０２２年度は、この目標を達成することができました。2023年度も同目標を継続し挑戦してまいります。

＊　鉄道係員の責任で発生した列車脱線や踏切障害等の事故並びに、それに準ずるもの

Ⅲ. 弊社の安全管理体制

弊社の安全管理規程に従い、社長をトップとする下表の安全管理体制を設け運用しております。

役職	役割
社　　長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を担う。
安全統括管理者（運輸技術部長）	輸送の安全の確保に関する業務を統括管理する。
管理部長	輸送の安全確保に必要な投資計画、人員計画等に関する業務を統括する。
運転管理者（運転課長）	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
施設管理者（工務課長）	安全統括管理者の指揮の下、鉄道施設に関する事項を統括する。
車両管理者（車両課長）	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
乗務員指導管理者（運転区長）	運転管理者を補佐し、乗務員の資質について維持管理する。



* 上席者が兼務

Ⅳ. 輸送の安全確保への取組

１．安全対策委員会

社長を委員長として、各管理者と現場長による安全対策委員会を毎年2回定例会として開催し、輸送障害の原因分析や教育訓練をはじめとする安全施策の状況確認や諸課題の解決に向け協議を行っております。

２．大規模災害復旧訓練

毎年、事故や災害に備えて、全社合同の防災訓練を実施しております。２０２２年度においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、この２年間自粛していた全社合同訓練を再開し、車両を活用した仮設災害対策本部の設営をはじめ旅客の避難誘導、負傷者の救護、火災発生を想定した消火活動、情報収集など実践的な訓練を実施するとともに、各係員の役割分担等について確認いたしました。

仮設本部設営訓練

避難誘導訓練

３．内部監査

安全輸送に関する適正な業務執行を徹底させるため、常勤監査役を主任監査員とし、運転・駅務・車両・工務の各部署から社員４名を監査員に任命し、２０２２年１２月に内部監査を実施いたしました。

４．踏切事故防止のための啓発活動

春と秋の全国交通安全運動期間中は、街頭広報活動の一環として踏切道及び駅構内において踏切通行者や鉄道利用者に対し、一旦停止や左右の安全確認等を呼びかけるなど、踏切事故防止の啓発活動を行いました。

5. 安全衛生パトロール

２０２２年１１月、社長、常務、担当部長による安全衛生パトロールを全部署に対して実施し、各職場内の安全及び衛生環境が保たれているか確認し、必要に応じて改善指導を行いました。

6. 第３種、第４種踏切の対策協議

２０２２年４月に発生した第４種踏切での踏切死亡事故を機に、遮断機のない第３種、第４種踏切の廃止等に向け、沿線自治体の協力を得ながら地元住民と協議を行っています。２０２２年度末には、１箇所の第４種踏切の廃止に至りました。

7. 警察・消防との合同訓練

事件・事故などの非常事態に備え地元警察署や消防署と連携した合同訓練を実施いたしました。警察との訓練では、暴漢事案の発生に対する対処方法について実車を使用し実践形式での訓練を実施いたしました。消防との訓練は、事故発生時における負傷者救助の方法や救助隊員が安全に活動が行えるよう車両の構造や取扱いに関する講習を実施いたしました。

暴漢者対応訓練

救助活動に伴う講習

8. 年間計画に基づいた教育訓練

業務の安全確保に関する能力向上を図るため、安全統括管理者が社員に対する教育訓練の年間計画を策定し、その計画に基づいて、基本作業の習熟や災害発生時の行動に関する実践的な教育訓練を行うほか、各種協会等が実施する外部研修会の受講を積極的に推進しております。教育訓練の実施状況については、月毎の定例会議で進捗状況を確認しております。

２０２２年度に実施した教育訓練の一例を以下に記載いたします。

○社員教育（５、１１月）

全社員に対し直接、社長自ら経営方針を説明する機会を設けております。この中で安全目標や安全重点施策などについて、全社員に周知徹底を図っております。

○基本教育訓練（５月）

日々、日常的に行われる車両の連結や解放作業などを安全確実に実施するため、駅務係員に対し現車を使用した実践的な訓練実施しております。

○外部研修（６月）

遠州鉄道様主催の脱線復旧訓練に、弊社社員も参加させていただきました。訓練では、乗客の避難誘導をはじめ、脱線復旧手順などについて確認いたしました。

○若年運転士教育（３月）

運転歴3年未満の運転士に対し、異状事態発生時に備え各種機器の取扱いや対処方法等を習熟するための実践訓練を定期的に実施しております。

９．中部運輸局による保安監査、運輸安全マネジメント評価の実施

国土交通省中部運輸局の職員による保安監査が４月に実施されました。監査の結果、改善命令や改善指示の指摘は、ありませんでした。

また、７月には運輸安全マネジメント評価も実施され、弊社の安全管理体制について確認をいたしました。

保安監査の実施

Ⅴ. 2022年度の運転事故・輸送障害等に関する報告

２０２２年度は、インシデント（事故の兆候）はありませんでしたが、運転事故が１件発生いたしました。輸送障害については、車両関係５件、電気施設１件、鉄道外の要因１件、自然災害９件の計１６件が発生いたしました。

２０２０～２０２２年度における運転事故、インシデント、輸送障害の発生件数

区分	２０２０年度	２０２１年度	２０２２年度
運転事故	１件	０件	１件
インシデント（事故の兆候）	０件	１件	０件
輸送障害	１８件	8件	１６件

※輸送障害とは、運転事故以外で運休や３０分以上の遅延が生じたものです。

〇運転事故の概況

『 踏切障害（直前横断）』

－２０２２年４月５日発生－

運転士は、約７０km/hで運転中、警報機と遮断機の設置されていない第4種踏切内で立ち止まっている通行人を発見したため、直ちに非常ブレーキを使用し気笛吹鳴を行ったが、これに及ばず衝撃した。運転士が確認したところ、線路脇に倒れている通行人を発見したため、運転指令に消防（救急）と警察への通報を依頼した。通行人は病院へ搬送されたが、その後、死亡が確認された。この影響により、上下１５本の列車が運休し、９本の列車に最大２７０分の遅延が発生した。なお、本件は、運輸安全委員会の調査対象事故となることから、事故調査官2名が現地に派遣され事故調査が行われた。また、道路管理者と弊社による再発防止対策の協議も行われ、当該踏切に注意喚起の路面標示や注意ポールの設置を実施した。

事故が発生した踏切の改修

○主な輸送障害の概況

『自然災害（水害）』

－２０２２年７月１０日発生－

前日からの降雨により、始発列車の運転士は速度を落として注意運転をしていたところ、西気賀駅～寸座駅間で降雨の影響による法面からの倒木を発見し、手前で停車して運転指令へ連絡した。運転指令は係員を手配し、復旧作業が行われ昼前に復旧した。この影響により、上下１５本の列車が運休し、１４本の列車に最大３３３分の遅延が発生した。

『自然災害（倒木）』

－２０２２年８月２３日発生－

宮口駅～フルーツパーク駅間を走行中、運転士は倒木を発見し非常ブレーキを使用したが、これと衝突した。運転士が確認したところ、車両破損と線路内支障が確認されたため運転指令へ報告した。運転指令は係員を現地へ派遣し処置をして、列車を車両基地へ収容した。この影響により、上下８本の列車が運休し、１１本の列車に最大１１５分の遅延が発生した。

『自然災害（水害）』

－２０２２年９月２３日発生－

台風１５号の接近により、２０時過ぎに全線の運転を中止した。翌朝から線路点検を実施したところ、全線各所で道床流出や土砂崩落、倒木など複数の被害が確認されたため、直ちに復旧作業を開始した。復旧作業は３日間におよび、仮復旧が完了したことから、２７日の始発列車から運転を再開した。この影響により、４日間で合計上下２５９本の列車が運休し、９本の列車に最大１１分の遅延が発生した。

道床の流出

土砂崩落により埋まった線路

Ⅵ. 施設整備･保守検査等の計画的な取組

鉄道施設総合安全対策事業費補助などを得て、以下の施設整備、保守検査を行いました。

整備額は４９２，０７０千円で、うち施設整備関係が３９３，９７０千円、車両関係が９８，１００千円でした。

区分：設備改修	整備内容
鉄道線路	・レールの重軌条化、PCまくら木交換 ・分岐器の交換、落橋防止対策 ・踏切道改修など

レールの重軌条化

分岐器の交換

落橋防止対策

踏切道の改修

区分：設備改修	整備内容
運転保安設備	・転てつ機の交換 ・通信ケーブル、トラフの交換 ・踏切遮断機、踏切器具箱更新など

転てつ機の交換

通信ケーブル、トラフの交換

踏切遮断機の更新

踏切器具箱の更新

区分：車両検査	整備内容
検査修繕	・全般検査（計2両）、重要部検査（計２両） ・車輪交換（計４両）その他の臨時検査など

重要部検査（減速機の検査）

臨時検査（コンバーターの点検）

区分：その他	整備内容
保全・保守点検 その他工事等	• 軌道整備、法面の改修 • 電気設備保全点検 • 沿線の除草薬散布、支障木の伐採、除草作業 • 駅舎の修繕、モーターカー修繕など

軌道整備

法面の排水路設置

法面の防護対策

電気設備保全点検

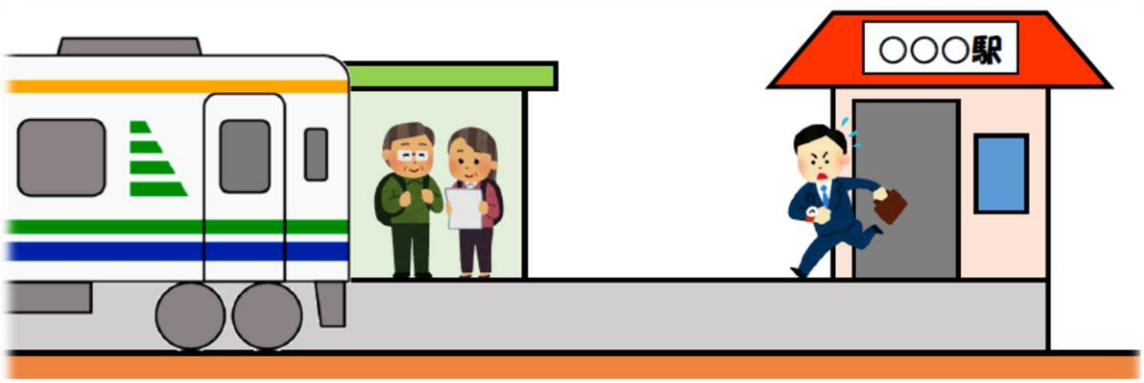
防草シートの設置

モーターカーの修繕

Ⅶ. ご利用の皆様･通行される皆様へお願い

〇事故防止のため、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

- 踏切では、必ず一旦停止をして左右をよく見てから渡りましょう。
- 大型自動車や荷物を積んでガードをくぐるときは、高さ制限に注意してください。
- 踏切及び駅構内の通路では、警報機が鳴ったら渡らないでください。
- 駆け込み乗車は危険です。
  余裕をもってホームで列車をお待ちください。
- 線路内には、立入らないでください。大変危険です。



駆け込み乗車は危険です!!
時間に余裕をもって、ホームでお待ちください。

Ⅷ. 問い合わせ先

安全報告書へのご意見やご感想は、下記までお寄せください。

〒431-3311
静岡県浜松市天竜区二俣町阿蔵114-2
天竜浜名湖鉄道株式会社
TEL　053-925-6125
（土曜・日曜・祝日を除く、９：00～17：00で受付）